

第4回 日本スポーツパフォーマンス学会大会

テーマ 『トップアスリートを支えるコーチングと実践研究』

日 時 平成30年7月25日(水) 14:30~18:00

場 所 東京ビッグサイト 会議棟6階 605-606室 (東京都江東区有明3-11-1)

(SPORTEC2018 開催中 展示会場とは別の会場です。直接会議棟6階にお越しください)

参加費 学会員：無料 (学会HP (<http://sports-performance.jp/>) からどなたでも新規会員登録可能 年会費：一般 ¥3,000 学生 ¥1,000)
一 般：有料 (事前登録 ¥4,000 当日登録 ¥5,000)



<https://www.sports-st.com/>

<プログラム>

進行 前田 明 (日本スポーツパフォーマンス学会理事長)

14:30 開会のあいさつ 日本スポーツパフォーマンス学会 会長 福永 哲夫

14:35 第1部 基調講演 『金メダリスト小平奈緒の成長を支えて』

演者 結城 匡啓 (信州大学 教授)

座長 金高 宏文 (鹿屋体育大学 教授)

第2部 パネルディスカッション

『トップアスリートを支えるコーチングと実践研究』

16:20 休憩

16:35 一般発表 (口頭プレゼンテーション) スライド1枚での概要を1分間で発表

17:15 ポスター発表 ポスターの前で意見交換 発表演題一覧は、次頁を参照 (24 演題)

17:50 学会賞の発表 表彰

18:00 閉会

[懇親会] 18:30 開始 SPORTEC2018 の合同パーティに参加 (無料)

お問い合わせ：日本スポーツパフォーマンス学会事務局 (三浦)

0994 (46) 4905, spjimu@nifs-k.ac.jp

- P1 ○林 享(東海学園大学), 草薙健太(中京大学), 水上拓也(中京大学大学院), 松井 健(追手門学院大学):
競泳シミュレーションが泳パフォーマンスに及ぼす効果
- P2 ○山口大貴(鹿屋体育大学大学院), 金高宏文, 山本正嘉(鹿屋体育大学):
自転車ベダリング運動における運動意識の違いが生理応答に及ぼす影響 -優秀な自転車競技選手へのトレーニング介入の効果にもふれて-
- P3 ○稲井勇仁(早稲田大学大学院), 広瀬統一(早稲田大学):
トライアスリートにおける暑熱対策の意識調査と心体の経時的変化の検討
- P4 ○上久保利直(環太平洋大学体育学部):
大学生中・長距離ランナーを対象とした股関節外旋可動域とMTSSとの関係性
- P5 ○橋元真央(京都光華女子大学):
新体操パフォーマンスにおける美的価値の定量化に関する試み -ダンスステップコンビネーションに着目して-
- P6 ○亀田麻依, 永原 隆(鹿屋体育大学), 水谷未来(至学館大学), 前田 明(鹿屋体育大学):
プロゴルファーのクラブヘッドスピードとフリーモーメントおよび鉛直力との関係 -男女差の検討-
- P7 ○沼田薫樹(鹿屋体育大学大学院), 濱田幸二(鹿屋体育大学), 坂中美郷(鹿屋体育大学), 高橋仁大(鹿屋体育大学):
大学女子バレーボールトップチームにおける跳躍頻度に関する研究
- P8 ○百瀬容美子, 伊藤 宏(常葉大学):
視覚障害者向けイメージ生成指導法の開発 -ナショナルユーストレセンに所属する先天性視覚障害ブラインドサッカー選手への適用-
- P9 ○水谷未来(至学館大学), 杉浦 綾(日本女子プロ野球機構), 鈴木智晴(鹿屋体育大学), 藤井雅文(鹿屋体育大学),
亀田麻依(鹿屋体育大学), 前田 明(鹿屋体育大学): 女子プロ野球投手における球種ごとの特徴
- P10 ○林 卓史(朝日大学):
トラッキングシステムを用いた投手陣形成の実践
- P11 ○藤井雅文, 鈴木智晴, 佐藤伸之, 村上光平(鹿屋体育大学大学院), 前田 明(鹿屋体育大学):
Rapsodo Baseballによる打撃パフォーマンステストの有効性
- P12 ○金子 潤(中京大学):
大学女子長距離選手の足袋着用トレーニングにおける走動作改善の効果
- P13 ○小原侑己(鹿屋体育大学大学院), 前坂 董(鹿屋体育大学体育学部), 木葉一総, 山本正嘉(鹿屋体育大学): 大学女子バスケットボール選手の競技力を
客観と主観の両面から評価して競技力向上に結びつける手法の開発(その1) -横断的および縦断的な検討結果に基づいた評価法の改善案-
- P14 ○前坂 董(鹿屋体育大学体育学部), 小原侑己(鹿屋体育大学大学院), 木葉一総, 山本正嘉(鹿屋体育大学): 大学女子バスケットボール選手の競技力を
客観と主観の両面から評価して競技力向上に結びつける手法の開発(その2) -評価結果に基づいて処方したテーラーメイド型トレーニングの効果-
- P15 ○鈴木智晴, 佐藤伸之, 村上光平, 藤井雅文(鹿屋体育大学大学院), 前田 明(鹿屋体育大学):
Rapsodo Baseballを用いた打撃パフォーマンステストの開発 -大学野球選手を対象として-
- P16 ○前田 明(鹿屋体育大学), 鈴木智晴, 村上光平, 藤井雅文(鹿屋体育大学大学院):
シャッターゴーグルを用いた直球を見るトレーニングがバントパフォーマンスに及ぼす影響
- P17 ○宮下菜央(鹿屋体育大学大学院), 金高宏文, 小森大輔(鹿屋体育大学):
立五段跳における総跳躍距離伸長に及ぼす要因を探る -2ヶ月間の単一事例の取組から-
- P18 ○尾形晃広, 坂本真嗣(THINK フィットネス), 前田 明(鹿屋体育大学):
スプリントにおいて意識する体のポイントがパフォーマンスに与える影響
- P19 ○河西大樹, 鹿子島宜美, 嶋田健人, 坂本真嗣(THINK フィットネス), 前田 明(鹿屋体育大学):
野球のバッティング, ピッチング時に意識するポイントがパフォーマンスに与える影響
- P20 ○小林愛実(鹿屋体育大学大学院), 亀田麻依, 木葉一総, 前田 明(鹿屋体育大学):
短距離スウィッシュシュートトレーニングが3ポイントシュートのパフォーマンスに及ぼす影響
- P21 ○佐藤伸之, 鈴木智晴, 村上光平, 藤井雅文(鹿屋体育大学大学院), 前田 明(鹿屋体育大学):
Rapsodo Baseballを用いた打撃パフォーマンスに関するフィードバックシート作成の試み
- P22 ○杉浦 綾(わかさ生活), 鈴木智晴, 佐藤伸之, 村上光平, 藤井雅文(鹿屋体育大学大学院), 前田 明(鹿屋体育大学):
WBSC女子野球ワールドカップ日本代表に選出された選手の成長過程
- P23 ○村上光平(鹿屋体育大学大学院), 鴻江寿治, 佐藤大輔(KOUNOE SPORTS ACADEMY), 緒方 剛, 筒井奈津子(NECソリューションイノベータ), 鈴木智晴,
藤井雅文(鹿屋体育大学大学院), 亀田麻依, 前田 明(鹿屋体育大学): ヒトは生まれつき猫背である -“コウノ工理論”に基づく姿勢の定量化-
- P24 ○野沢絵梨(慶應義塾大学大学院), 大谷俊郎(慶應義塾大学):
全国トップテニス選手が獲得するライフスキルの検討 -個人スキルに着目して-